

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成26年度第2回 情報環境整備促進委員会 議事概要

I. 日時 : 平成26年7月29日(水) 午前10時00分から午後12時00分まで

II. 場所 : 私情協事務局

III. 出席者 : 向殿委員長、半谷委員、深澤委員、渡辺委員、青木アドバイザー  
井端事務局長、森下

IV. 資料

- ① 平成26年度私立大学高度情報化補助金活用調査集計データ
- ② 平成26年度ICT活用推進事業申請予定(対象数、金額、必要性、期待される効果)
- ③ 平成26年度教育基盤設備申請予定(対象数、金額、必要性、期待される効果)
- ④ 平成26年度要求内訳(案)、
- ⑤ ICT加算措置の要望について

V. 議事内容

1. 平成25年度私立大学高度情報化補助金活用調査の報告

① 平成25年度教育基盤設備申請予定

申請予定は事業費で74件、37億円であり補助希望額18億円程度が計画されている。

前年のICT活用推進事業の採択率が低かったことから比較的高い教育基盤設備での申請を考  
えていることがうかがえる。

② 平成25年度ICT活用推進事業申請予定について

申請予定は事業費で69件、42億円であり補助希望額21億円程度が計画されているが前年の137  
件、59億円から減少しており、教育基盤設備での申請を考えていることがうかがえる。

2. 文部科学省への要求について

① 教育基盤整備

現行予算の20倍以上のニーズがあることを踏まえて、財政援助の減額ではなく、拡大に努めてい  
ただくことを要望することとし、特に1億円以上の計画9件-21億円については、平成24年度補正  
予算を活用して前倒し整備を行うことが得策であり、ほぼ確実に補助を受けられることを計画し  
ている大学に説明し、文部科学省と連携して25年度内での前倒し整備を勧めることで、65件、8  
億円を要望することにした。

② ICT活用推進事業

現行予算の7倍以上のニーズがあることを踏まえて、財政援助の減額ではなく、拡大に努めてい  
ただくことを要望することとし、特に1億円以上の計画8件-16億円については、平成24年度補正  
予算を活用して前倒し整備を行うことが得策であり、ほぼ確実に補助を受けられることを計画し  
ている大学に説明し、文部科学省と連携して25年度内での前倒し整備を勧めることで、61件-13  
億円を要望することにした。

### ③私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費補助金（ICT活用）

大学力の向上のため、大学教育の質的転換や、特色を発揮して地域の発展を重層的に支える大学づくり、産業界や国内外の大学等と連携した教育研究など、ICTの効果的な活用を通して教育研究環境の改善が一層促進されるよう、ICTに関わる教育システム（例えば、事前・事後学修を学内LAN上で行う学修支援システム、学修過程を管理する学修プラットフォーム、教員連携での学修支援を実現するプラットフォーム、授業中の理解度を容易に確認するためのクlickerシステム、協働して知の創造を形成する発表・講評型ポータルサイト等）の一層の整備に向けて拡大に努めていただくことを要望しICT関連として8億円の増額を要望することにした。

#### 3. 経常費補助金の要望について

経常費補助金一般補助での加算措置の拡大を図るため、本年度は現行の4項目に加えて、教育の質的転換を実現するために不可欠な取り組みの追加として「アクティブ・ラーニングを実現するための取り組み」、「総授業科目でのICT活用が6割以上」、「教材のアーカイブ化」の3項目を要求することにした。また、補助単価の拡大についても継続して要望し、財政援助の拡大に努めていただくことを要望することにした。

#### 4. 今後の予定

- ① 本日の集計結果を7月26日（金）開催の第21回理事会で報告
- ② 7月末までに文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団に対して平成27年度概算要求に向けた要望を行う。